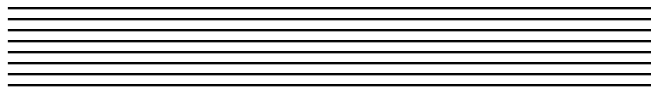


第76回 常設展示



恩地孝四郎

—版画・詩・装幀—

平成8年11月26日～12月21日

「本は文明の旗だ、その旗は当然美しくあらねばならない。」恩地孝四郎『本の美術』より。

版画家で、詩人の恩地孝四郎(1981～1955)は、大正から昭和にかけての自由な雰囲気の中で生まれた創作版画運動の中心人物の一人でした。新しい技術、手法を取り入れた抽象から具象までの幅広い作風で知られ、詩と版画との融合を試みた作品も残しています。また、本の装幀の分野でも活躍し、雑誌「書窓」などを通じて、本の美について語り続けた人でもありました。

今回の展示では、多彩な創作活動から生まれた作品の一部を、版画と詩、装幀を手がけた図書を中心に、当館所蔵資料の中からご覧いただきます。

展示資料一覧

<>内は当館請求記号

【版画家・詩人としての恩地孝四郎】

1. 日本現代創作版画大集

日本版画社編

<411-74>

東京 日本版画社 1928(昭3)

平塚運一、前川千帆、恩地孝四郎ほかの版画集。巻頭、「作者のことば」に恩地孝四郎の詩がある。

2. 創作版画賀状集 1931年版

平塚運一ほか共著

<特253-951>

東京 求竜堂出版部 1930(昭5)

平塚運一、前川千帆、恩地孝四郎による年賀状の作品集。

3. 都会スケッチ

竹久夢二等著 <YDM70282>
東京 洛陽堂 1911(明44)

竹久夢二、恩地孝四郎ほかの画集。巻頭に恩地孝四郎の詩がある。

明治42年、18歳の恩地孝四郎が夢二に画集の感想を書き送ったことから始まる二人の友情は、夢二の死まで続いた。

4. 海の童話 詩を伴ふ版画連作

恩地孝四郎著 <428-53>
東京 版画荘 1934(昭9)

5. 飛行官能

恩地孝四郎編 <614-173>
東京 版画荘 1934(昭9)

昭和3年、北原白秋らと九州へ旅行し初めて飛行機に乗る。そのときの印象から生まれた、詩と版画、写真による作品。

『飛行官能』と『海の童話』は私の出版作として純粋な作品だ。…(中略)…出版物を構成するすべてを私の手でやったし、その製作の最初から書籍形態を作品の表現手法として用いたものだからである。)(『書窓』第3巻第1号より)

6. 博物志

恩地孝四郎著 <748-O65ウ>
東京 玄光社 1942(昭17) 141p(図版共)

動植物の写真と随筆による構成。写真撮影も著者による。巻頭に著者の詩がある。

7. 虫・魚・介

恩地孝四郎著 <733-O65ウ>
東京 アオイ書房 1943(昭18) 図版11枚(文共)

版画と詩で構成されている。

「形は本の形をしてゐるが、これは私の、文字を加えたタブローである。)(『書窓』第17巻第5号より)

8. 日本の憂愁

恩地孝四郎著 <911.56-O7562n>

熱海 竜星閣 1955(昭30) 120p(図版、原色図版共)

詩と版画、作品ノートなどによる遺稿集。

9. 季節標

恩地孝四郎著

<426-124>

東京 アオイ書房 1935(昭10) 95p

詩文集(詩、散文、日記と版画からなる)。詩は自筆による写真製版である。著者と刊行者の協力によって生まれた、「美術としての書巻、純正なる意味に於ける真の豪華装本」(『書窓』第3巻第1号より)である。

10. 恩地孝四郎詩集

恩地孝四郎著

<KH475-98>

東京 六興出版 1977(昭52) 286p(著者の肖像あり)

既刊、未刊の詩集、詩画集などから編集。

【装幀家としての恩地孝四郎】

11. 春の日 感想集

吉田絃二郎著

<582-282>

東京 新潮社 1930(昭5) 305p

12. 草に臥して 感想集

吉田絃二郎著

<713-114>

東京 改造社 1936(昭11) 314p

13. 一人ゆく旅

吉田絃二郎著

<a914-141>

東京 美和書房 1949(昭24)

14. 世はさまざまの話

佐藤春夫著

<701-5>

東京 版画荘 1936(昭11) 304p

15. 詩歌叢書

第2編 身辺雑唱 歌集 楠田敏郎著 1929(昭4)

<613-64>

第3編 童髪 歌集 金子不泣著 1930(昭5)

第8編 一隅より 歌集 矢代東村著 1931(昭6)

第17編 水源地帯 歌集 前田夕暮著 1932(昭7)

東京 白日社

叢書の各編がすべて異なる装幀となっている。

「本書の装幀は、大正13年以来の私の散文集の装幀について其都度私の期待以上によいものを制作してくれた畏友恩地孝四郎君を煩はしたことを、喜ばしく思ひ、且つ同君に感謝する。」(前田夕暮『水源地帯』巻末より)

16. 森の生活

ソロオ著 今井規清訳

<a934-7>

東京 大泉書店 1948(昭23) 408p

17. 顕花植物 第五散文集

前田夕暮著

<724-32>

京都 人文書院 1936(昭11) 304p

「前田夕暮さんは親しくして貰った先輩の一人。…(中略)…創作版画に早くから共感を持ち、装本に際しても全く任されて気持ちよく仕事をさせて貰った。」(『本の美術』より)

18. 柚子の種

土岐善麿著

<596-135>

大阪屋号書店 1929(昭4)

著者の好んだ緑色を用いて装幀した。

19. フィガロの結婚

ボオマルシェエ著 辰野隆訳

<952-cB37f-T>

東京 要書房 1951(昭26) 258p 図版

20. その夜(一)

長与善郎著

<913.6-N244s>

東京 朝日新聞社 1948(昭23)

第一回装幀展の受賞作。全3巻であるが、各巻配色を変えている。

21. 危険信号 詩集

大木篤夫著

<611-35>

東京 アルス 1930(昭5) 177p

-
22. **リツ子・その愛／リツ子・その死**
壇一雄著 <a913-1301>
東京 作品社 1950(昭25)
23. **青櫛は歌ふ(青櫛叢書 第一篇)**
前田夕暮著 <798-72>
東京 白日社 1940(昭15) 178p
24. **現代詩人全集 第7巻**
新潮社編 <911.56-G295-S>
東京 新潮社 1930(昭5)
25. **手 詩集**
井上康文著 <529-257>
東京 素人社出版 1928(昭3) 185p
表紙原画は木版。挿画として木版画が2枚。
26. **ノアノア**
ポール・ゴオガン著 前川堅市訳 <517-385>
東京 アルス 1926(大15) 146p
ゴオガンのタヒチ島生活による小説的ルポルタージュ。
27. **十三月 詩集**
竹村俊郎著 <特234-336>
東京 武蔵野書院 1929(昭4) 156p
28. **萩原朔太郎全集 第3巻 詩の原理、第8巻 古典鑑賞俳句篇**
東京 小学館 1943(昭18) <918.6-H14-2ウ>
29. **萩原朔太郎全詩集**
東京 創元社 1953(昭28) 492p 図版 <911.56-H126h3>
30. **カミツレ之花 抒情詩集**
大木惇夫著 <656-129>
東京 鬼工社 1934(昭9) 221p
-

31. 新頌・富士

前田夕暮著 <911.168-Ma26-3ウ>

東京 富岳本社 1946(昭21) 37p 図版

歌集。裏表紙の白地にも同文様の胡粉刷を行っている。挿画として木版画2枚。

32. 出帆 上、中、下巻

竹久夢二著 夢二の会編 <303-89>

東京 アオイ書房 1940(昭15)

自伝的小説。文中の挿絵も著者による。夢二七回忌記念の限定版。夢二の好んだ和装本仕立て、3巻とも色を変えている。

33. 白秋全集 第5巻 歌集

北原白秋著 <598-26>

東京 アルス 1929(昭4)

34. 北原白秋選集 第1巻 白秋詩集

大木惇夫編 <911.56-Ki289k2>

東京 あかね書房 1951(昭26) 463p 図版

35. 南蛮更紗

新村出著 <536-13>

改造社 1924(大13) 390p

著者の注文により古渡りの更紗を模して、布に木版を用いて装幀した。

※展示資料には含まれておりませんが、文中の引用に使用された、雑誌『書窓』<Z21-163>及び恩地孝四郎著『本の美術』<022.5-O756h>も当館所蔵資料です。展示期間中もご利用いただけます。

訂正

1 頁

恩地孝四郎(1981～1955)

→恩地孝四郎(1891～1955)

◎請求記号が YDM ではじまる資料は、マイクロ資料でのご利用になりますので、展示期間中でもご利用になれます。

国立国会図書館 03-3581-2331(代)

ホームページアドレス <http://www.ndl.go.jp>

■国立国会図書館 ■□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□■03(3581)2331■